

Q. 公用車使用年数の目安は



しばたけんいち
柴田賢一 議員

Shibata Kenichi

A. 5年、10万キロ超

町所有の公用車について、適正に管理、運用されているのかどうか。また、消防車両、給食運搬車などの専用車を除き、稼働率向上のため、各部署で公用車を共用しているが、その実績を問う。

Q 町の公用車は、使用年数の目安を何年としているのか。

A 総務部長
購入後5年を経過した車両であつて、走行距離が10万キロを超えるか、故障の頻度が高いものを、その基準とつづける。

Q 公用車にドライブレコーダーを装着したのか。それは町の公用車すべてか。

A 総務部長
職員の安全運転意識の向上と、交通事故発生時ににおける自己責任の明確化を図るため、平成27年度、公用車すべてにドライブレコーダーを設置している。



▲公用車設置のドライブレコーダー

平成30年度の共用車の稼働率はどのようになっているのか。

Q 他市では、公用車のカーリース導入を開始しているところがある。共用車に対して検討する予定はないか。

A 総務部長
これまで情報収集に留まっている。購入費や維持管理費などを総合的に考え、判断したい。

Q 開庁日の使用日数による平均稼働率は、87.6%となっている。

A 総務部長
開庁日の使用日数による平均稼働率は、87.6%となっている。

平成30年5月、新潟市において、下校途中の7歳の児童が殺害された。これを受け、政府は緊急合同点検要領を取りまとめたが、本町の取組み結果を問う。

Q 実施対象(範囲)は、どこであったのか。

A 教育委員会事務局長
町内全小学校すべての通学路を対象に実施した。また、学校敷地外にある豊山小学校と新栄小学校の放課後児童クラブ(なかよし会)への経路も行っている。

Q 実施主体(参加機関)は、どれだけあったのか。

A 教育委員会事務局長
愛知県尾張建設事務所、

Q. 緊急合同点検の結果は A. 危険箇所は3件

西枇杷島警察署、全小中学校の学校代表者、町産業建設部建設課、町総務部防災安全課、町教育委員会事務局の職員が参加している。

Q 実施内容(実施結果)は、どうだったのか。

A 教育委員会事務局長
3件の危険箇所があった。



▲通学路の緊急合同点検

12月定例会

討議

審議結果

委員会視察

一般質問